

2021年5月14日
第4回 外国人雇用政策の在り方に関する検討会

立命館大学の 外国人留学生における進路・就職支援の特徴及び今後の支援展開



<報告者>

立命館大学キャリアセンター部長、経済学部教授
紀國 洋

立命館大学の最近のグローバル化の取り組み

2011	<ul style="list-style-type: none"> ・国際関係学部「Global Studies専攻」開設 ・文学部「大学の世界展開力強化事業」採択（キャンパス・アジアプログラム）
2013	<ul style="list-style-type: none"> ・情報理工学部・大連理工大学共同「国際情報ソフトウェア学部」開設 ・政策科学部「Community and Regional Policy Science専攻」開設 ・「大学の世界展開力強化事業」に政策科学部、国際関係学部、文学部、経済学部、経営学部採択
2014	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択 ・「大学の世界展開力強化事業」に理工学部・研究科、情報理工学部・研究科、生命科学部・研究科採択
2017	<ul style="list-style-type: none"> ・情報理工学部情報システムグローバルコース開設
2018	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカン大学との共同で「アメリカン大学・立命館大学国際連携学科」を開設
2019	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリア国立大学との共同学士課程で学ぶ「グローバル教養学部」を開設

立命館大学の国際化への取り組み

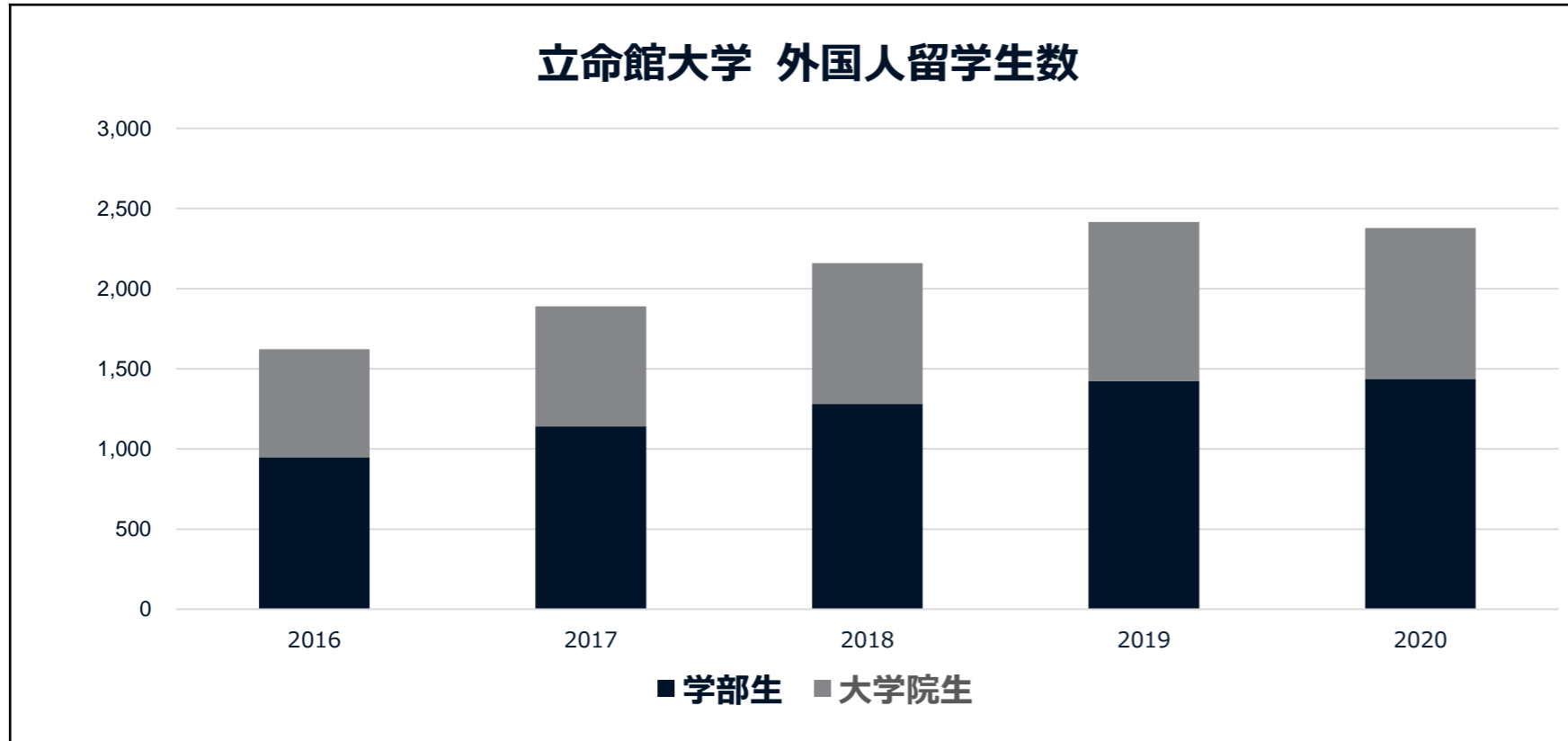
「社会の期待に応え、社会を拓く人間を育成する」ことを目標とし、教育の国際化、グローバル人材の育成を積極的に推進

立命館大学について（数字でご紹介）

- 外国人留学生数 71か国・地域から2,450人（2020年5月）
- 外国人教員数 134人（2017年度大学ランキング1位）
- 英語コース数 4学部5コース 7研究科（2020年度時点）
- 外国人留学生受入学部 100%（2020年度時点）
- 外国人留学生の卒業後就職決定率 94.9%（2020年度卒業生）



立命館大学 外国人留学生数の推移



年度	2016	2017	2018	2019	2020
学部生	949	1,141	1,281	1,424	1,437
大学院生	673	749	878	992	941
合計	1,622	1,890	2,159	2,416	2,378

特徴

- 外国人留学生数は
5年前の約1.5倍に
- 早期に就職活動準備
の開始が必要な
大学院生も増加
- 英語による入試で入学、
履修コースも英語の
「英語基準学生」も増加



立命館大学 外国人留学生に対する進路・就職支援の特徴

入学時

学部1～3回生
大学院1回生

学部4回生・大学院2回生

進路希望登録

※変更があれば都度更新

支援企画
インターンシップ

マッチング企画
個別支援

内定
進路決定登録

特徴

- **把握**（進路希望状況・就職活動状況）⇒ **支援**（個別フォロー・企画実施）⇒ **把握** ⇒ **支援** を展開
⇒ 日本での就職を希望している外国人留学生の**約7割が希望を実現**（大学把握内）
- 全学生対象企画に加えて、**外国人留学生特有の課題に対応する支援企画の実施**
- **英語基準学生に対しても英語で対応**（ガイダンス実施、冊子作成、個別面談）

立命館大学で近年行っている主な外国人留学生を対象とした支援企画

No.	時期	企画名称	内容
1	4月	第1回日本就職ガイダンス	・日本における①外国人留学生の採用情勢、②就職活動の特徴、③就職活動の進め方 の説明
2	6月	日本就職にあたっての自己分析と企業研究の行い方	・自己分析や企業研究を行う際に、外国人留学生が特に気をつけなければならないポイントの説明 ・インターンシップの応募書類の作成にあたって必要な視点の説明
3	9・10月	第2回日本就職ガイダンス	・日本での就職活動における①選考方法の概要、②選考において特に外国人留学生が留意すべき点の説明
4	10月	筆記試験対策講座	・申込者に対して事前課題（非言語問題）を送付。当日は事前課題の解説会を実施
5	10・12月	内定者による就活相談会	・第2回/3回の就職ガイダンス後に疑問・不安を解消する場として設定。学生より内定者に相談を実施
6	10～12月	日本就職を目指す留学生のための エントリーシート作成講座	・履歴書・ES作成の基本、自己分析を自己PRに繋げる方法、志望理由の書き方、電話・メールの日本語マナー、 履歴書・ESを面接に繋げる方法（全6回の講義形式）
7	12月	第3回日本就職ガイダンス	・日本での就職活動における①概要、②求められる日本語レベル、③ビジネスマナー、④各種選考対策 について説明
8	2月	有給インターンシッププログラム	・留学生のスキルや語学力を活かして実際に業務に携わることができ、 日本人と一緒に働くことへの理解や、日本で働く上で自身の持つ課題発見ができる機会を提供
9	3月	留学生対象合同企業説明会	・外国人留学生を積極的に採用する企業による説明会を1日程5～6社×4日程開催
10	4月～12月	留学生対象 オンキャンパス・リクルーティング/ 応募者とりまとめ	・留学生を採用する企業に対し、受験を希望する学生の取りまとめや、学内選考会を開催
11	9月	Work in Japan	・主に英語基準の外国人留学生を対象に、日本における就職活動の進め方や、準備しておくことを説明
12	12月	Work in China	・母国（中国）就職を希望する外国人留学生を対象に、母国での就職活動の進め方や、 現地企業・現地の日系企業の情報について説明
13	12月	Work in Korea	・母国（韓国）就職を希望する外国人留学生を対象に、母国での就職活動の進め方や、 現地企業・現地の日系企業の情報について説明
14	7～12月	京都府主催「留学生ビジネス日本語能力養成研修」 の大学内受付	・BJTテスト受験1（研修前） WEB教材によるe-learning研修 キャリア教育 BJTテスト受験2（研修後）

※1～9は学部3回生・大学院1回生対象（9以外は他回生の参加も可）、10は学部4回生・大学院2回生（就職活動中学生）対象、11～14は全回生対象。
その他、新入生オリエンテーション内でのガイダンスや、正課日本語科目への協力も実施。

※新型コロナウイルス感染症などにより、実施していない年度もある。

立命館大学の外国人留学生の進路・就職支援に関する課題

① 大学院生の増加

- 日本企業が求める日本語運用能力レベルの理解と力量形成
 - 日本文化、日本特有の就職活動の進め方の理解
 - 夏期インターンシップへの参加
- ※学部生と比べて、本格的に就職活動を開始するまで準備期間が少ない。また、大学院入学前の就業経験や日本語学校歴が影響し、卒業・修了時点の年齢が高いことが日本企業の雇用慣行では不利になることがある

② 英語基準学生の増加

- 英語で採用選考やインターンシップを受け入れている企業は少なく、求人開拓が必要。
- ※採用選考は日本語以外の言語で対応する企業でも、入社後は日本語が必要なケースがほとんどで、日本企業の多くが日本語を運用できる学生を求めている

③ 新型コロナウイルスによる就職環境の悪化

- 外国人留学生も対象となる本学到着求人件数の減少
 - 10月以降も就職活動を継続する学生が増加
 - 卒業後も就職活動を継続する（継続を希望する）学生が増加
- ⇒求人先の開拓や卒業後も含めた個別支援がより必要になっている

課題克服に向けた今後の展開

立命館大学は、ハローワーク梅田（大阪外国人雇用サービスセンター）
「外国人留学生の国内就職支援に関する協定」を締結しました。



西日本の大学として
「初」の締結

2021年3月16日締結日に記者発表
した際の写真です。テレビや新聞等で
多く取り上げていただきました。

課題克服に向けた今後の展開

R RITSUMEIKAN



ハローワーク梅田
(大阪外国人雇用サービスセンター)



- 入学から卒業後まで官学協力して学生をサポート
- 企業との新たなネットワーク構築に期待

New!

	開始時期
<ul style="list-style-type: none"> ● 大学に英語のみで選考や受入を行うものも含めた求人情報・インターンシップ情報の提供 ● 学内相談会・登録会開催を開催し、ハローワーク梅田から在学生・卒業生へ個別に情報提供・支援 ● 大学主催「有給インターンシップ・プログラム」の協力 ● 内定後研修としてハローワーク梅田から講師を派遣（早期離職を防ぎ、職場定着を図るため） 	2021年度
<ul style="list-style-type: none"> ● 入学後早期にハローワーク梅田から講師を派遣（早期の就職活動準備を促進） 	2022年度予定

課題克服に向けた今後の展開

学外協力を得て、また学内で正課・正課外・部門を越えて連携し支援する、包括的な支援プログラム
「日本就職支援プログラム」を2021年度から始動！

プログラム内容

- ビジネス日本語教育プログラム
- キャリア教育
- インターンシップ・プログラム（2021年2月に試行的に実施）
- 日本企業とのマッチング支援
- 内定者定着支援

※プログラム修了者には「認定証」を発行



課題克服に向けた今後の展開

2021年2月に試行的に実施した

「外国人留学生対象 有給インターンシップ・プログラム」について

現状

インターンシップ参加経験

本学留学生：12.0%※1

全国大学生：84.5%※2

日本企業の独特の雇用慣行
求められるビジネス日本語
見えにくいキャリアパス
留学生のジョブ型志向

■ 日本の文化、企業理解が最も必要
な外国人留学生が参加できていない

2月実施

対象：日本での就職を希望する外国人留学生

企業：外国人留学生の採用実績がある、または採用を予定・検討している
関西エリアで「有給」で40時間以上の受入可能な企業

実績：受入企業7社 申込者32名 参加者9名（うち院生4名、理系2名）

結果：・学生は日本企業への就業体験を通し、自らの課題に気づき、それらへ
取り組もうとする姿勢が見えた

・学生9名中7名が就職先として関心を持つ

・企業7社中4社が「状況次第で採用したいと思っている」と回答

■ 学生・企業共に満足度高く、今年9月頃に本格的に実施を予定

■ 外国人留学生の中でも「院生」「博士人材」「理系」「英語基準」など、多様な
学生を受け入れていただけるよう企業開拓が必要

■ 中小企業だけでなく、グローバルに展開する企業にも参加を求めたい

ご清聴ありがとうございました。



立命館大学キャリアセンター部長、経済学部教授
紀國 洋